



owner's manual



お客様へ

この度は PGO SCOOTER X-HOT125・150 をお買上げ頂きまして誠に有難う御座います。
PGO から発行されている取扱説明書は英文で作られております。
従って、簡単では御座いますが、機能及び取扱い方法について説明している箇所を
日本語にてご理解頂ける様、本書を作成いたしました。
乗車される前に必ず本書をお読み頂けます様お願い致します。

不具合等でお困りの場合は、お買い求めの販売店様へご相談ください。

PGO 日本代理店

NOVELFORCE INC JAPAN

目次

安全に運転する為の注意点	2
各部名称	3
車体識別	4
各部の機能について	5
1 メインスイッチ	5
2 LCD スピードメーター	6、7、8、9
3 ハンドルスイッチ操作方法	10
4 ハンドル（ステアリング）ロック	11
5 シートロック	11
6 フューエルタンクキャップ	11
7 ラゲッジボックス	12
運行前点検項目	13
ブレーキ、ブレーキフルード、ブレーキパッド	14
エンジンオイル、エアクリナー	15
燃料排出装置	16
タイヤ、スロットルグリップ	17
灯火類、スイッチ類、燃料、触媒	18
乗車する際の注意事項	19
エンジン始動、エンジン暖機、スクーターに乗るにあたって	19
スロットル操作、ブレーキ操作	20
エンジンの慣らし運転	20
駐車、フットレストフック使用上の注意	21
定期点検	22
定期点検スケジュール	22、23
エキゾーストコントロールシステムの点検	24
エアクリナーの清掃	24
スパークプラグの点検、清掃	25
ギヤオイルの交換	25
リヤブレーキ調整（125cc のみ）	25
ブレーキパッドの点検	26
ブレーキフルード点検	26
フロントフォーク点検	27
バッテリー点検	27
ヒューズ交換	28
バッテリーカバーの取り外し方	28
主要緒元	29
定期点検記録簿	30
配線図	31
保証書	33, 34

安全に運転する為の注意点

▲ 警告

運転時は十分な余裕を持ち、以下の用件に留意する必要があることを予め了解下さい。

安全運転のために

1. 運行前点検は必ず実行し、修理が必要であれば修理をしてから運行してください。
2. 多くの事故は経験の少ないライダーに関係します。慎重に運転しましょう。
3. 乗車時は運転操作を妨げない服装で、明るい色の物を着用しましょう。
4. 交通法規を遵守してください。過度な速度は事故につながります。速度は控えめにしましょう。
5. 他の交通に迷惑を掛けない様に気を付けましょう。交差点や駐車場の出入り口等は特に注意が必要です。
6. 乗車時はハンドルをしっかり持ち、足はステップボードに乗せ、正しい姿勢で乗りましょう。後席に乗車する人はステップに足を乗せ保持してください。
7. エンジンを掛けたまま車両から離れないようにしてください。
8. 悪路を走行する時はスピードを落とし、強い衝撃を受けないよう操作してください。

各部名称



車体識別

車体を識別する為にフレームナンバーとエンジンナンバーがあります。

1. フレームナンバーはバッテリーカバー内に打刻されています。



2. エンジンナンバーはベルトケース後端部に打刻されています。



注意

フレームナンバー及びエンジンナンバーは部品の注文時に必要なだけでなく、盗難等に遭われた時に車体識別の為に必要です。メモを取り保管してください。

各部の機能について

1. メインスイッチ

- 1の位置で電源が OFF となり鍵を抜くことができます。
- 2の位置で電源が ON となりエンジンを始動することが出来ます。またこの位置では鍵を抜くことは出来ません。
- 3の位置でハンドルロックすることが出来ます。
- どの位置からもしながら左に回すとシートが開きます。
- 1の位置で押しながら右に回すと燃料タンクキャップが開きます。
- 6のシャッターを押し、閉めることが出来ます。



2. LCD スピードメーター

X-HOT 150 Model

1. 速度警告灯

2. LCDメーター

3. タコメーター

4. EMSチェックランプ

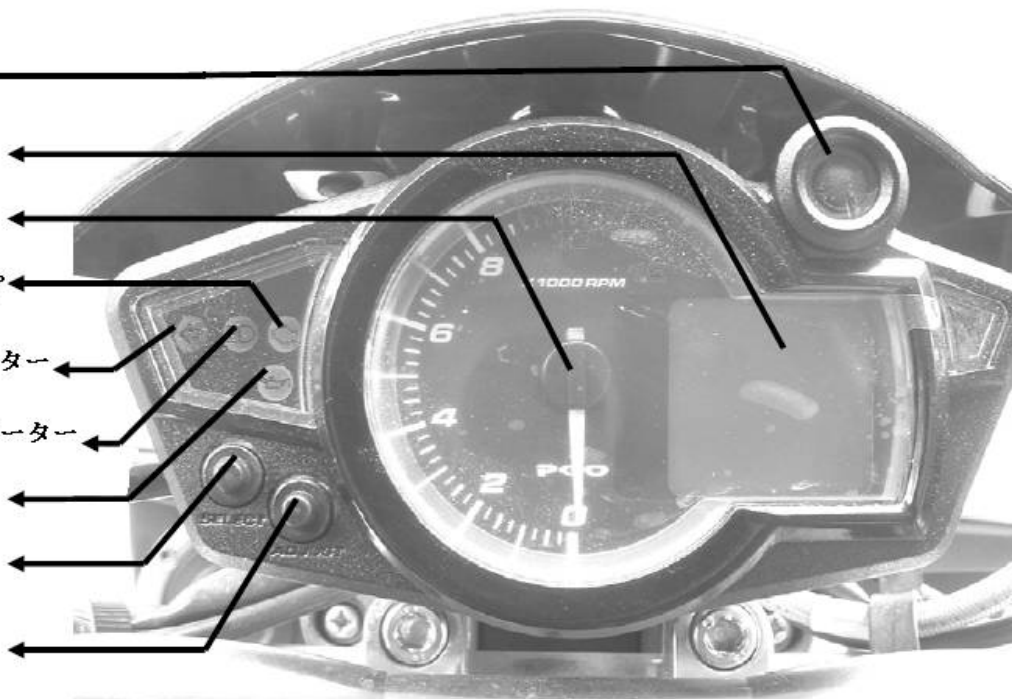
5. シグナルインジケーター

6. ハイビームインジケーター

7. エンジンオイル
インジケーター

8. SELECT ボタン

9. ADJUST ボタン



① 速度警告灯

② LCDメーター

③ タコメーター (指示数値×1000/毎分)

④ EMSチェックランプ

- ・ 鍵を ON にした時、セルフテストの為 3 秒間点灯します。
- ・ 運転中に点灯した場合は、PGO 正規取扱店にて点検を依頼してください。

⑤ シグナルインジケーター

(ウインカー使用時に点滅)

⑥ ハイビームインジケーター

⑦ エンジンオイルインジケーター (1000 km毎に点灯します。)

- ・ 点灯した場合、エンジンオイルを交換し、リセットしてください。(下段参照)

⑧ セレクトボタン

⑨ アジャストボタン

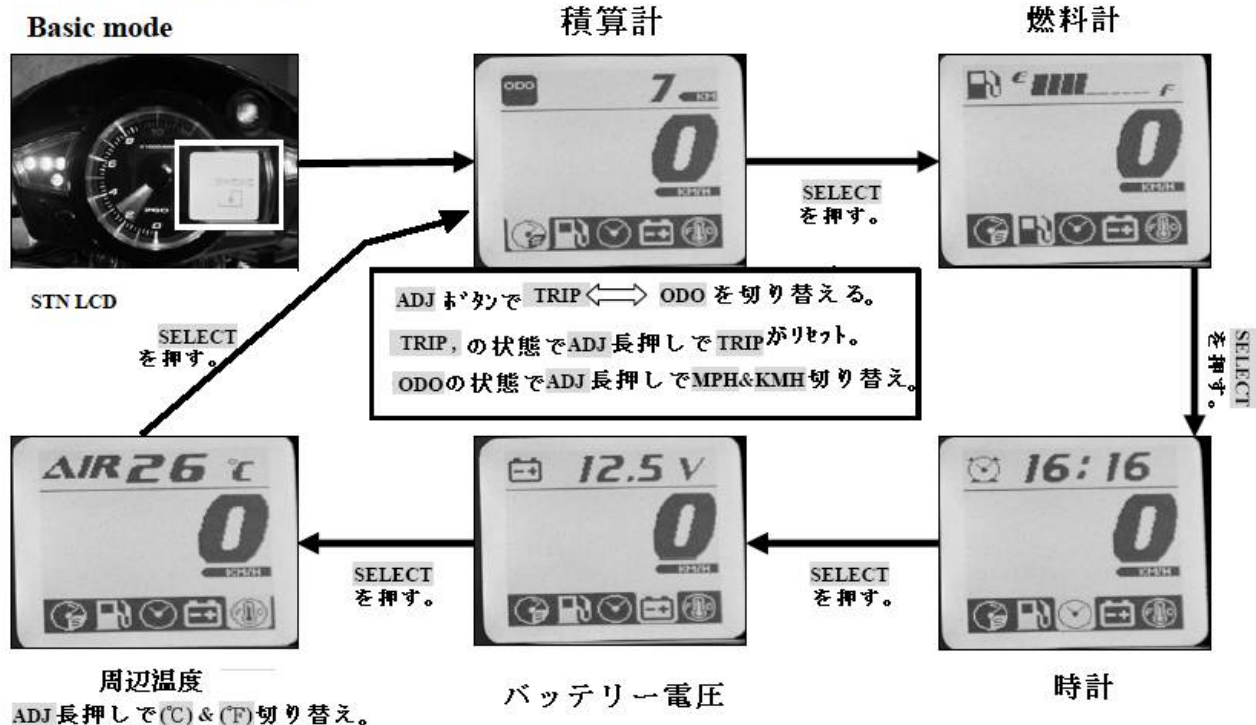
エンジンオイルインジケーター リセット方法

1. エンジンオイルインジケーターが点灯したら SELECT ボタンを 3 秒以上長押ししてください、点灯していたインジケーターが点滅に変わります。
2. キャンセルする場合、この時点で中止する場合は ADJUST ボタンを押すと点灯に戻す事が出来ます。
3. キャンセルしない場合は ADJUST ボタンを 3 秒長押しすれば消灯出来ます。

LCDメーター操作方法

基本操作

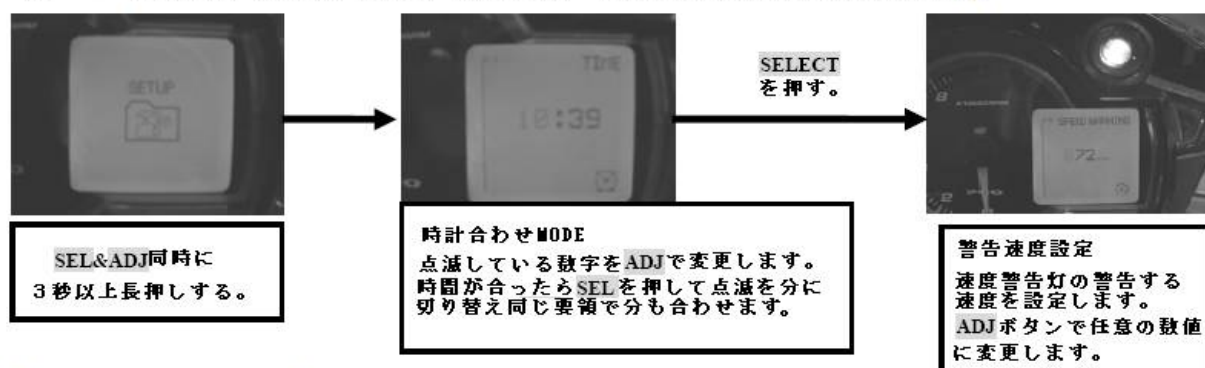
X-HOT 150 Model



設定・パワーテストモード

X-HOT -150 model

設定 (通常モードに戻す場合は一度メインキーをOFFにしてから再度ONにする。)



8.7 パワーテスト mode



X-HOT125 Model



- ① セレクトボタン
通常画面では Km/h ⇄ mph (マイル) の切り替えボタンとして機能します。
アジャストボタンと同時に約 3 秒長押しすると通常モードからセットアップモードに切り替えが出来ます。
(セットアップモードのまま約 20 秒操作が無いと通常モードに自動回復します。)
セットアップモードでは調整する箇所の切り替えボタンとして機能します。
- ② アジャストボタン
通常画面では ODO ⇄ Trip の切り替えボタンとして機能します。
Trip 表示中に長押しすると Trip メーターをリセットすることが出来ます。
セットアップモードでは数字合わせのボタンとして機能し、長押しする事で数字を自動送りすることが出来ます。
- ③ EMS チェックランプ
正常時はメインキーを ON にすると点灯テストの為 3 秒間点灯し、その後消灯します。
もし EMS システムに異常を検知すると点灯し異常を知らせますので EMS ランプが消えない場合はお問い合わせ頂いた販売店様又は PGO スクーターお取扱店様へご相談下さい。
- ④ 右ウィンカーインジケーター
右ウィンカー使用時に点滅します。

- ⑤ タコメーター
エンジン回転数を表示します。
- ⑥ 左ウィンカーインジケータ
左ウィンカー使用時に点滅します。
- ⑦ ハイビームインジケータ
ヘッドライトがハイビームのときに点灯します。
- ⑧ 速度警告灯
セットアップモードで設定した速度以上になると点灯します。



- ⑨ フューエルメーター
燃料の残量を表示します、残り 2 メモリ以下になると点滅します。
- ⑩ スピードメーター
速度を表示します。
- ⑪ ディスプレイモード
現在の表示数値のモードを表します。
- ⑫ デジタルクロック
時間を表示します。

3. ハンドルスイッチ操作方法

1. HI/LO ビームスイッチ

"≡D" HI・・・ハイビームが ON の状態です。

"≡D" LO・・・ロービームが ON の状態です。

※スイッチが LO 側にあるとき、さらに下向きにスイッチを押すとパッシングさせることができます。

2. ターンシグナルスイッチ

ウインカーを出したい方向へスイッチを押し込むとウインカーを作動させることができます。また、中立の位置で真ん中のボタンを押すとキャンセル出来ます。

3. ホーンボタン

ホーンボタンを押すと、ホーンが鳴ります。

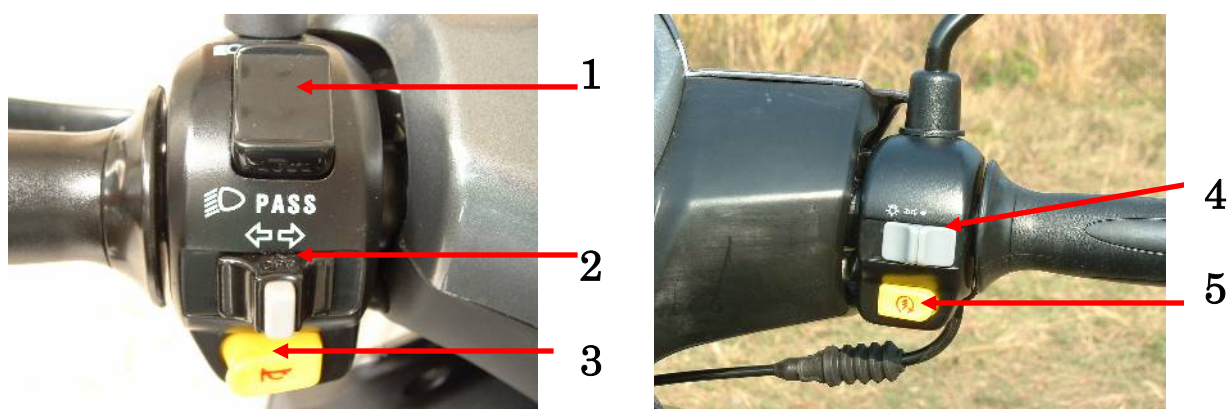
4. ヘッドライトスイッチ

ヘッドライトを OFF⇄ポジション⇄ON に切り替えるスイッチです。

※ 日本仕様はヘッドライト常時点灯の為作動しません。

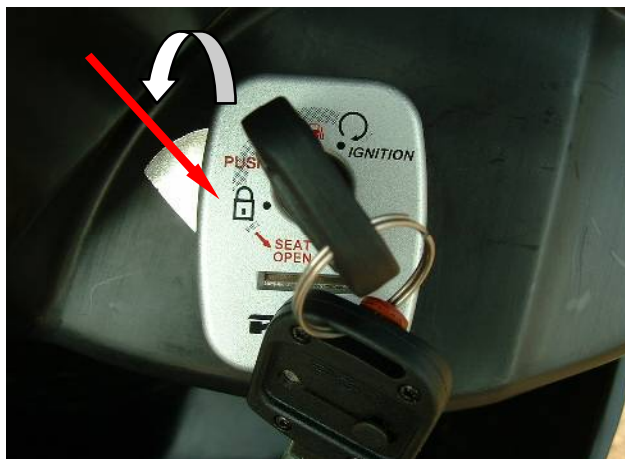
5. スターターボタン

エンジンを始動させるボタンです。ブレーキレバーを握った状態で、スターターボタンを押すとエンジンを始動します。(始動はEMS チェックランプの消灯を確認してから行って下さい。)



4. ハンドルロック

ハンドルロックを掛けるには、ハンドルを左に切り、鍵を図の矢印のところまで回します。



5. シートロック

鍵を押しながら左に回すことでシートを開けることができます。



6. フューエルタンクキャップ

鍵を OFF の位置から押しながら右に回すとフューエルタンクキャップが開きます。閉めるときはキャップを上から押し込んでください。



7. ラゲッジボックス

シートの下がラゲッジボックスになっています。



- 注意**
- 1 ラゲッジボックス内の耐加重は最大 5 kg までです。
 - 2 長時間エンジンが作動しているとラゲッジボックス内の温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。
 - 3 壊れやすいものは入れないで下さい。
 - 4 雨天や洗車などでボックス内に水が入る場合があります。防水性のある物で包むようにして下さい。
 - 5 車両から離れる時は必ずシートロックを掛けて下さい。

運行前点検項目

車両運行前に必ず以下の項目を点検下さい。

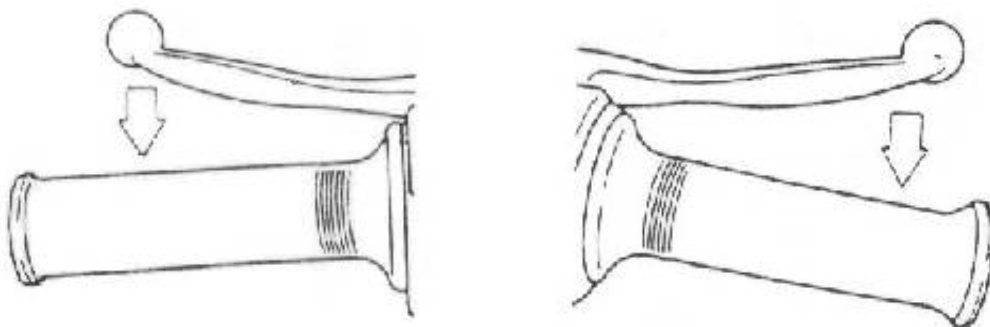
項目	点検内容	ページ
フロント・リヤ ブレーキ	作動、遊び、液量を点検し補充の場合は FMVSS DOT3(4) または SAEJ 1703 ブレーキオイルを補充してください。	2 4
スロットル グリップ	スムーズに作動するか点検し、必要であれば給油する。	1 5
タイヤ	空気圧と磨耗状態を点検する。	1 5
ケーブル類	スムーズに作動するか点検し、必要であれば給油する。	—
ブレーキレバー	スムーズに作動するか点検し、必要であれば給油する。	1 2
センタースタンド	スムーズに作動するか点検し、必要であれば給油する。	—
各部組みつけ	各部取り付け状態を点検し、必要に応じて増し締めや調整を行う。	—
燃料タンク	残量を点検し、必要なら補充する、漏れが無いか点検する。	1 6
灯火類	点灯確認を行い切れているものは交換する。	1 6
オイル	オイルレベルゲージでエンジンオイルの量と汚れを点検し必要ならば交換する。メーター内インジケーターも点検すること。 ギヤオイルも点検する。	1 3 2 3

ブレーキ

1. フロント/リアブレーキレバー

- ・ブレーキレバーには適切な遊びが必要です、約10～20mm遊びがあることを確認し、少なすぎたり多すぎる場合は、最寄のPGO取扱店で点検を受けてください。
- ・ブレーキを数回掛け、離れた時にホイールが軽く回るか点検する。回転が重い場合はブレーキパッドの戻りが悪い可能性がありますので、最寄のPGO取扱店で点検を受けてください。
- ・ハンドルを持ちレバーを握り機能していることを確認してください。
作動時に違和感がある場合は速やかにPGO取扱店で点検を受けてください。

※運行前点検を怠ると何らかの不具合が生じる危険がありますので必ず点検を行い必要な修理、調整を毎日でも実行してください。

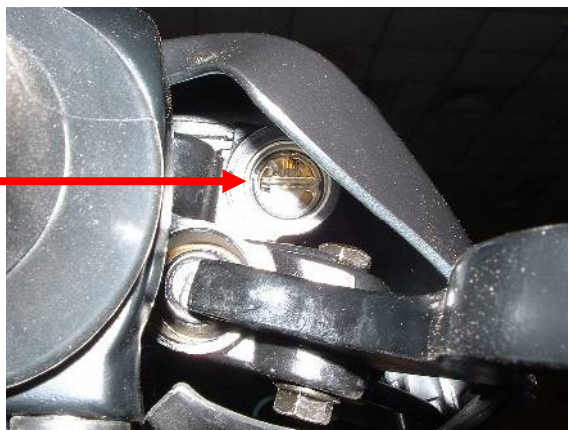


2. ブレーキフルード

ブレーキフルードの量はハンドルカバー横から覗き込むと点検窓により点検できます。リザーバタンクを水平にしてから点検して下さい。

補充が必要な場合はFMVSS DOT3 または SAE J1703 の物を補充してください。

また、ブレーキホースやホース接続部分等に於いて液漏れを発見した場合は絶対に運行せず。速やかにPGO取扱店で点検・整備を受けてください。



3. ブレーキパッド

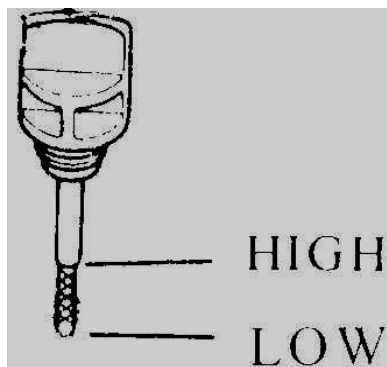
ブレーキフルードの減少及び握ったときの違和感はブレーキパッドが減ったことに起因する場合がありますので、速やかにPGO取扱店で点検を受けてください。

＊ ブレーキパッド交換は有資格者に委託してください。

エンジンオイル

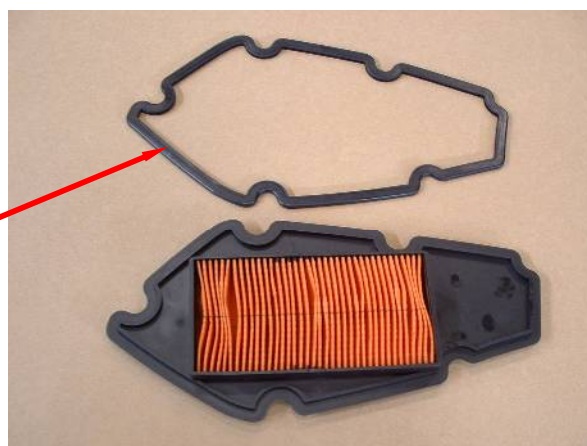
エンジンオイル量点検

- エンジンオイルは初回 3 0 0 k m で、その後 3 0 0 0 k m 毎に交換してください。
- オイルレベル点検は平坦な場所で暖気後エンジン停止後 2 ～ 3 分経ってから行う。
- オイルレベルゲージのロウレベル以下にならないようにオイルを補充して下さい。



エアクリナー

エアクリナーは空気中の埃を取り除き磨耗度合い軽減に重要な部品です。常に清潔であるようにあなた自身もしくは PGO 取扱店で定期的なメンテナンスを行ってください。

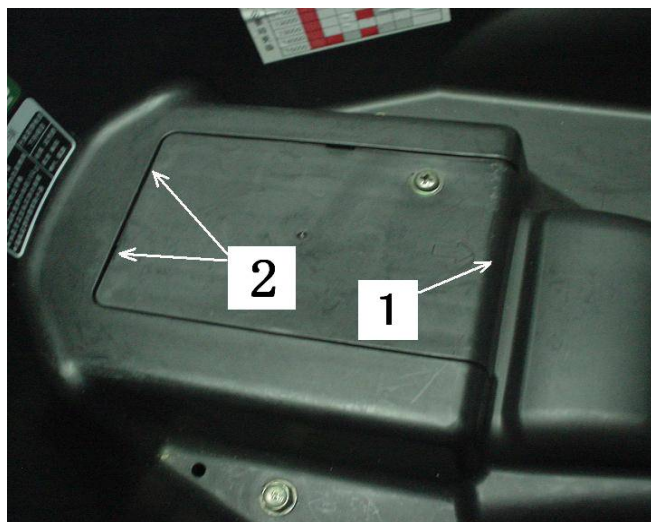


注意 シールを入れるのを絶対に忘れないで下さい。

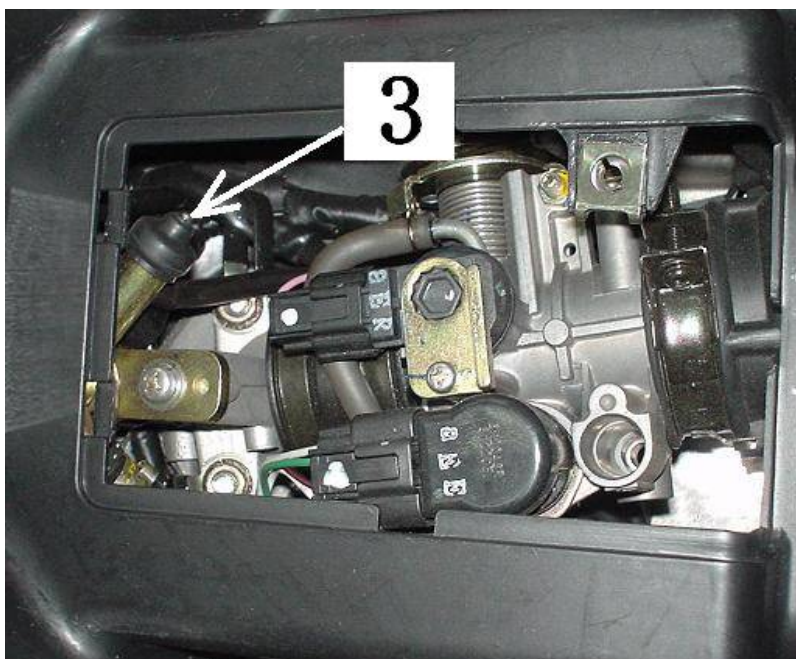
燃料排出装置

1 ヶ月以上エンジンを掛けずに保管していた場合、燃料ホース内の燃料が悪くなりエンジンが掛からないことがあります。その時は以下の手順で悪くなった燃料を排出してください。

- 1、 ラゲッジボックス内の調整蓋（1 の部分）の矢印の部分に指をかけ 2 の部分を支点にし持ち上げるようにして外す。



- 2、 メインキーを ON にし、EMS チェックランプが消えるのを確認します。
（この時エンジンは始動しないで下さい）
- 3、 指でドレインバルブ（3 の部分）を押し燃料を排出してください。
（ラゲッジボックスを取り外す必要はありません。）
- 4、 燃料ホース内の悪い燃料を排出後、エンジンを始動する。



タイヤ

タイヤの性能を保持し磨耗を抑える為に以下の点に留意してください。

1. 空気圧

空気圧は基準値を守りましょう。

※ 空気圧の測定は走行前に行い、外気とタイヤ内空気の温度差が生じない状態で測定してください。また、外部からの圧力も正確な測定の妨げになります。空気圧の基準値は 前輪：1.75kg/cm² 後輪：2.0kg/cm² です。



空気圧が高い場合



空気圧が低い場合

2. 簡単な点検

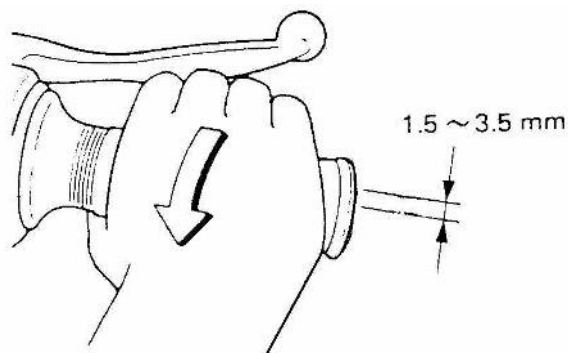
乗車前にタイヤの外観を点検し過度の磨耗や釘など刺さっていた場合は、速やかにPGO 正規取扱店で点検・整備を受けてください。

3. タイヤ溝の深さチェック

過度に磨耗したタイヤは大変危険です、溝の深さが十分ないと、泥や濡れた路面で顕著に滑ります。溝の深さを点検し0.8 mm以下になったら速やかに交換しましょう。

スロットルグリップ

- スロットルグリップを操作し遊び量と作動状態を確認して下さい。
- 手を離れた時、速やかに元の位置へ戻るか確認して下さい。調整方法はPGO 正規取扱店へお問い合わせ頂くか依頼して下さい。



灯火類

スイッチを操作し、すべてのランプ、バルブ、インジケーターが作動することを確認して下さい。

スイッチ類

スイッチを操作し、作動を確認して下さい。

燃料

燃料が十分にあるか確認して下さい。

タンク容量は5.8 Lです。

※ 注意！

1. 燃料は無鉛ガソリンを使用して下さい。
2. 給油口の細くなっている部分までガソリンを満たさないで下さい、あふれてしまう危険性が有ります。

触媒

触媒は排気ガス中の有害物質を低減させる為の装置で、排気管内に設置されています。

1. 走行直後のマフラーは高温になり危険です、駐車する時は周りに燃えやすいものが無い事を確認し、なるべく歩行者などから遠ざけて駐車してください。
2. 燃料は必ず無鉛のガソリンを給油してください。
3. 走行中や空ぶかし直後にメインスイッチをオフにしないで下さい、未燃焼ガスが触媒を過度に加熱させ機能低下に繋がります。
4. 燃えやすい物の上での走行、駐停車はしないで下さい。
5. 常に良好なエンジン状態を保ち、異常燃焼で触媒を過度に熱を持たせないようにしてください。
6. 触媒が正常な作動を続ける為に、定期点検を心掛けてください。



乗車する際の注意事項

1. 乗車する前にすべての操作システム及び機能を把握してください。又、何らかの問題がある場合は PGO 取扱店にご相談下さい。
2. 締め切った場所でエンジンを掛けしないで下さい。

エンジン始動

1. エンジン RUN/OFF スイッチが RUN の位置にあることを確認し、メインキーを"O"の位置まで回してください。
2. EMSチェックランプ消灯確認後、スロットルグリップ全閉状態でブレーキレバーを握り、スタートボタンを 5 秒以内に押して下さい。

※ 注意！

エンジンが掛からない時でも、連続して 5 秒以上スタートボタンを押し続けしないで下さい、電気系統に過大な負荷が掛かり故障の原因になります。



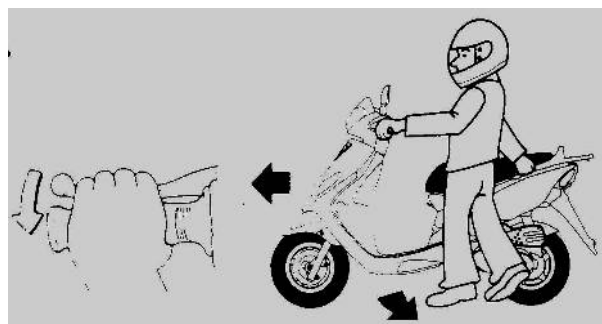
エンジン暖機

エンジン保護の為に運行前に 1 ～ 3 分程度アイドリングをしてエンジンを暖機して下さい。始動直後で暖まらないうちに負荷を掛けないようにして下さい。

☆ 新車購入直後の場合は“エンジンの慣らし運転”のページをよく読み、まず慣らし運転を行って下さい。

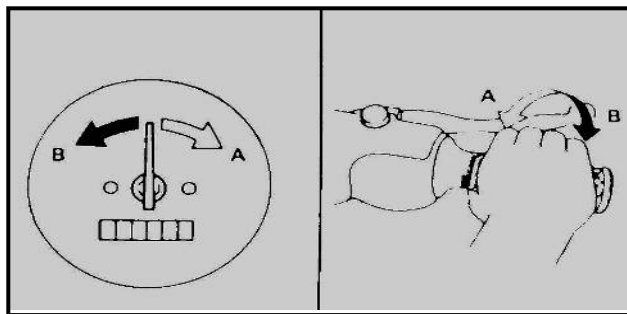
スクーターを乗るにあたって（暖機終了後）

1. リヤブレーキを握ったままセンタースタンドを上げて下さい。
2. 正しい乗車姿勢でシートに座り、バックミラーを調節して下さい。
3. 周りの交通状況を確認後、発車の合図を出してから発車しましょう。
4. ゆっくりスロットルグリップを操作し、発車出来たら合図を戻しましょう。



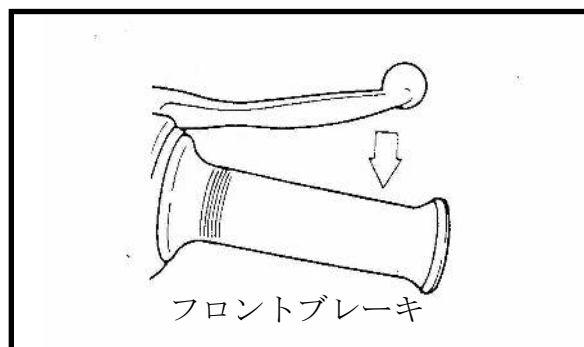
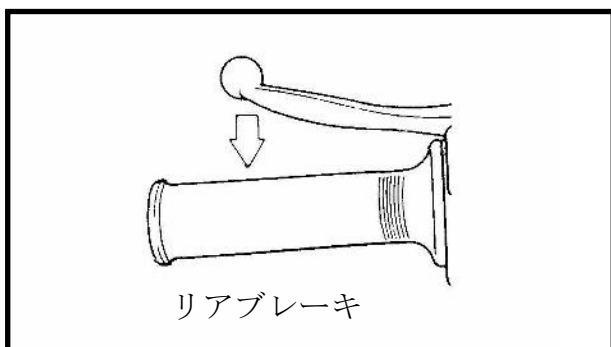
スロットル操作

スロットルグリップを手前に捻ると増速し、戻すと減速します。スムーズな操作を心掛けましょう。



ブレーキ操作

1. スロットルグリップを戻して下さい。
2. 前後ブレーキをゆっくり握って下さい。



※ 注意！

1. 滑ったり、転ぶ恐れがあるので急ブレーキは避けて下さい。
2. 車体が傾いている時は特に注意して操作しましょう。不用意な操作は転倒等の原因になります。
3. 未舗装路やマンホール、濡れた路面等は滑りやすい為スピードを落としてください。
4. 濡れた路面や下り坂ではブレーキが効きづらくなります、十分減速して下さい。

エンジンの慣らし運転

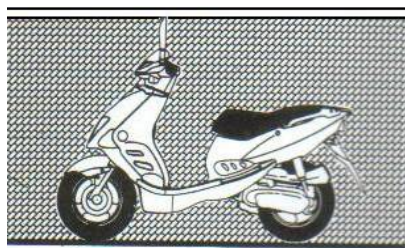
新車から 1,000 k m まではスクーターの寿命に一番影響する時です、1,000 k m を超えるまでは過大な負担を避け、出力の半分程度で走行しましょう。

エンジン各部が適切なクリアランスを確保出来るように、過大な負担や急激な動作は避けましょう。

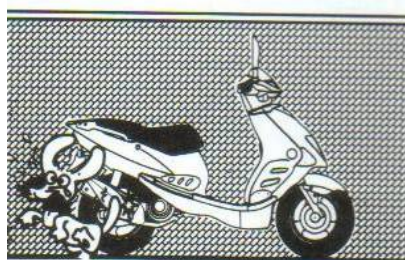
- | | |
|------------------|---|
| 1. 0～150 k m | スロットル開度は 1 / 2 以下にして下さい。1 時間に 5 ～ 10 分程度エンジンを冷やすようにし同じ速度を長時間保持しないで、速度を変えながら走行します。 |
| 2. 150～500 k m | 長時間スロットル開度 1 / 2 以上で保持しないで下さい。
※ 300 k m で一度エンジンとギヤのオイルを交換して下さい。 |
| 3. 500～1,000 k m | スロットル開度 3 / 4 以下にして下さい。 |
| 4. 1,000 k m 以上 | 長時間全開で走行しないようにして下さい。 |

※ 注意！ 慣らし運転中に何か問題が起きた場合、PGO 正規取扱店にご相談下さい。

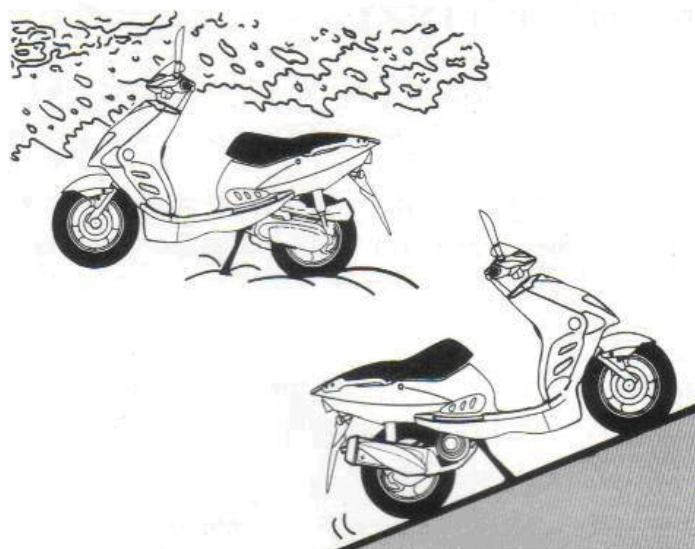
駐車



正しい止め方



誤った止め方



誤った止め方

- ※ 注意！ 走行直後はマフラーが非常に熱くなっている為、子供や歩行者から出来るだけ離して駐車して下さい。
坂道や地盤が不安定な場所は転倒する危険性がある為駐車しないで下さい。
この車輜は安全の為サイドスタンドスイッチを装備している為、サイドスタンドが出ている状態ではエンジンが掛かりません。



フットレストフック使用上の注意

図の様な足元が不安定になるような荷物の積載は大変危険です。



定期点検

性能を維持し安全に運転をする為に、定期点検を励行し定められた期間に点検、調整
潤滑油の補充・交換を行って下さい。

安全運転は運転者の義務です、メンテナンスと油脂類の補充は常に意識し、偶発的な
事故以外の重要な予防措置と認識ください。

＊注意！ 舗装路の走行を目的にデザインされていますので、悪路や濡れた
路面を走行する時は、エンジンの消耗が早まるのでエアクリーナーを頻繁に掃除
して下さい。

点検や整備についてご不明な点がある時は、PGO 取扱店へお尋ね下さい。

定期点検スケジュール

項目	内容	定期点検と走行距離による点検						
定期点検月		1	3	6	9	1 2	1 5	1 8
走行距離		300	3000	5000	8000	10000	13000	15000
エンジンオイル*	交換（800cc） 全容量（1000cc）	○	3000 k m毎に交換					
オイルフィルタ	交換(125ccのみ)	○	5000 k m毎に交換					
オイル ストレーナー*	清掃又は交換	○	3000 k m毎に清掃又は交換					
エアクリーナー	清掃又は交換		○	○	○	○	○	○
ギヤオイル*	交換（90cc） 全容量（110cc）	○	○		○		○	
ディスク & ドラム ブレーキ	作動と液漏れ 点検		○	○	○	○	○	○
クラッチシュー*	点検又は交換		○	○	○	○	○	○
タイヤ	磨耗点検 又は交換		○	○	○	○	○	○
車軸*	点検・増し締め		○	○	○	○	○	○
F フォーク*	機構及び 液漏れ点検	○	○	○	○	○	○	○
ステムベアリング*	ガタ点検・ 増し締め			○		○		○

‘＊’ マークの項目は PGO 取扱店にて点検・整備を依頼してください。

項目	内容	定期点検と走行距離による点検						
定期点検月		1	3	6	9	1 2	1 5	1 8
走行距離		300	3000	5000	8000	10000	13000	15000
サスペンション*	作動と液漏れ点検	○	○		○		○	
メイン・サイド スタンド	作動点検又は交換	○	○	○	○	○	○	○
各ボルトナット	緩み点検・増し締め	○	○	○	○	○	○	○
バッテリー	電圧点検・電極清掃		○	○	○	○	○	○
バルブ クリアランス*	冷間時に測定する IN/EX 共 0.08mm	必要であれば調整する。						
スパークプラグ*	清掃又は交換			○		○		○
V ベルト*	磨耗点検又は交換			○	A	○	A	○
フュエルフィーデ ィングシステム*	ホースのヒビや 詰まりの点検			○		○		○
EMS*	必要であれば点検 し履歴を消去する	○	○	○	○	○	○	○

“*” マークの項目は PGO 取扱店にて点検・整備を依頼して下さい。

“A” マークの項目はエンジン性能が著しく低下している場合、点検又は交換して下さい。

※ エンジン保護の為に 300 k m 走行時のエンジンオイル・オイルフィルター・オイルストレーナー清掃・ギヤオイル交換を行って下さい。

※ ブレーキフルード交換

1. マスターシリンダー分解や、キャリパー分解時には新しいフルードを補充してください
2. 油量はこまめに点検して下さい。
3. マスターシリンダーとキャリパーのオイルシールは 2 年毎に交換して下さい。
4. ブレーキホースは 4 年毎に交換して下さい。

エキゾーストコントロールシステムの点検（触媒装着車）

1. 触媒は、燃料・イグニッション・インテーク／エキゾーストシステムを定期的にメンテナンスすることによって、触媒のメンテナンスとなります。
2. エアクリーナーを点検（21ページ参照）
3. スパークプラグの点検（22ページ参照）
4. 燃料システムの点検： フューエルパイプのひび、漏れ、詰まりの点検又は交換。
5. マフラー点検： 排気漏れを点検、必要ならばガスケット交換。
6. アイドリング点検

エアクリーナーの清掃

エアクリーナー点検時にエアクリーナーボックス内に多くのホコリの蓄積が認められるような場合はエンジン出力の低下と燃料消費増大につながると考えられます。こまめに点検、清掃を行いましよう。

1. エアクリーナーカバーを外す。
2. エアクリーナーエレメントを外す。
3. 圧縮空気で汚れを吹き飛ばして清掃し、必要ならば交換する。
4. エアクリーナーエレメントを元の位置に戻し、カバーを隙間が開かないように気を付けて取り付ける。

※ 注意！ エアクリーナー分解中にエンジンを掛けしないで下さい、ホコリ等がエンジンに吸い込まれ内部を傷付ける恐れがあります。



スパークプラグの点検

スパークプラグはエンジンの重要な部品のひとつです。プラグの状態でエンジンの燃焼状態を知ることが出来ます、プラグの焼け色が薄茶色であればエンジンが良好な燃焼状態であることを表します。もし問題があれば PGO 取扱店にご相談下さい。

時間の経過と共に熱やホコリで腐食したり焼け焦げたりするので、ある一定期間で新しい物と交換して下さい。

純正指定プラグ：

150cc CR7E (NGK) プラグキャップ 0.6～0.7mm

125cc CR6HSA (NGK) プラグキャップ 0.6～0.7mm

点検後は取り付ける前にねじ部とワッシャー部をきれいにしてから取り付けてください。

締め付けトルク： 1.2kg-m

もしトルクレンチが無い時は、手で回るところまでねじ込み、そこから $1/4 \sim 1/2$ 回転締め付け、後ほどトルクレンチで指定トルクで締め付けを行って下さい。

ギヤオイル交換

- 初回は 300km で、その後は 2500km～3000km ごとに交換して下さい。
- 交換時容量：90cc SAE140
全容量：110cc

リヤブレーキ調整

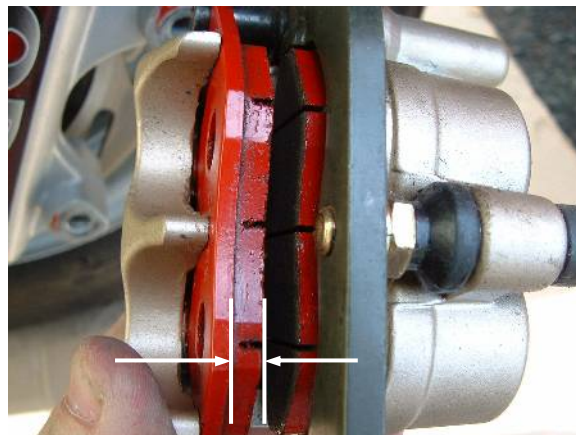
リヤブレーキの握りが深くなった場合はリヤブレーキ調整ネジを締め込んで調整が出来ますが、重要保安部品になりますので有資格者に作業を依頼して下さい。(125cc のみ)



ブレーキパッド点検

1. ブレーキを握るとゴリゴリした感触になった。
2. キーキー異音がするようになった。

以上のようなときは、PGO 取扱店で交換を依頼して下さい。



※ ブレーキは重要保安部品です、定期点検を行い、必ず整備資格保有者に整備を依頼して下さい。

ブレーキフルード点検

リザーバータンク内のフルード液量が少ないとブレーキ液に空気が入る原因になります。ブレーキ液に空気が混入すると油圧が伝わりにくくなり制動力が著しく低下し危険です。こまめに液量を点検して下さい。

1. 液量点検時はリザーバータンクが水平になるようにハンドルを切ってください。
2. ブレーキフルードは必ず指定の規格品を使用して下さい、それ以外の使用はシール類を痛め液漏れの原因になります。

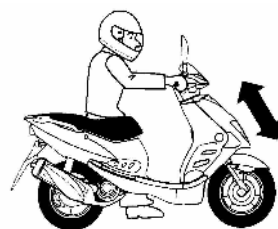
純正指定規格： FMVSS DOT3 or SAE J1703

3. 補充するフルードは同じ種類の物を使用してください、混ぜる事は避けてください。
4. マスターシリンダー内に水が入らないようご注意下さい、水が混ざるとフルードの沸点が下がり、フルード内に気泡を生じさせ大変危険です。
5. フルードは塗装面を侵食します、こぼしてしまった時は直ちに拭き取ってください。
6. ブレーキの整備は資格を持つ整備士に依頼して下さい。

フロントフォーク点検

注意！ アクシデント回避の為に、日常点検を励行して下さい。

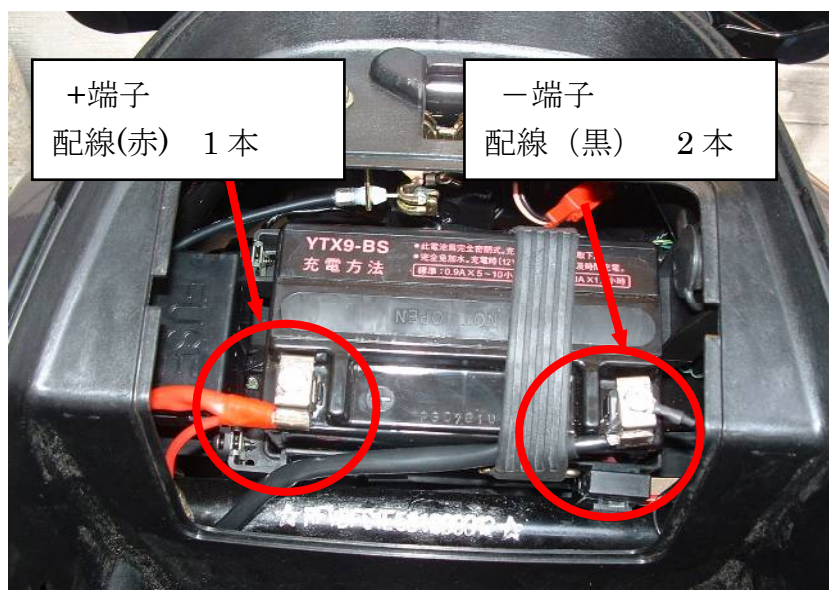
1. 目視による点検
インナーパイプの傷、損傷、オイル漏れを点検する。
2. 作動点検
車輦を平坦な場所でハンドルを持ちフロントブレーキを掛けフォークの作動を点検する。



2.FUNCTION CHECK

バッテリー点検

1. バッテリーはメンテナンスフリータイプを使用していますので液量の点検及び補充は必要ありません。万一バッテリー液が漏れている場合は、至急 PGO 取扱店にご相談下さい。
2. バッテリーへの配線の接続ですが、赤い配線を+端子に接続し、黒い配線を-端子へ接続して下さい。黒い配線は2本あるので両方共接続して下さい。(右図参照)



※ 注意！

バッテリーのシール（ふた）を取る事は絶対にしないで下さい、バッテリーを損傷させる恐れがあります。

ヒューズ交換

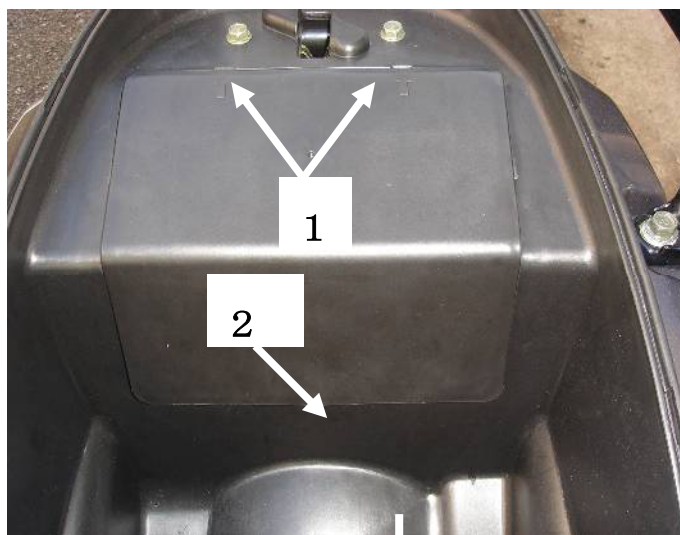
1. シートを開け、バッテリーカバーを開くと、バッテリーの横にヒューズボックスがあります。
2. ヒューズが断線している場合はメインスイッチを **OFF** にして、ヒューズが切れた原因を解消してからヒューズを交換して下さい。もしヒューズ交換後メインスイッチをオンにして再びヒューズが断線する場合は PGO 取扱店にご相談ください。

注意！ ヒューズの定格アンペアより大きいアンペアのヒューズを使用しないで下さい。
定格アンペア以上のヒューズを使うと配線に強いダメージを与え、発火の原因となり大変危険です、正しいヒューズをお取り付け下さい



バッテリーカバーの外し方

シートを開け1の部分を支点にして、2の部分に手をかけ持ち上げるようにして外す。



BF-150BBE 主要緒元

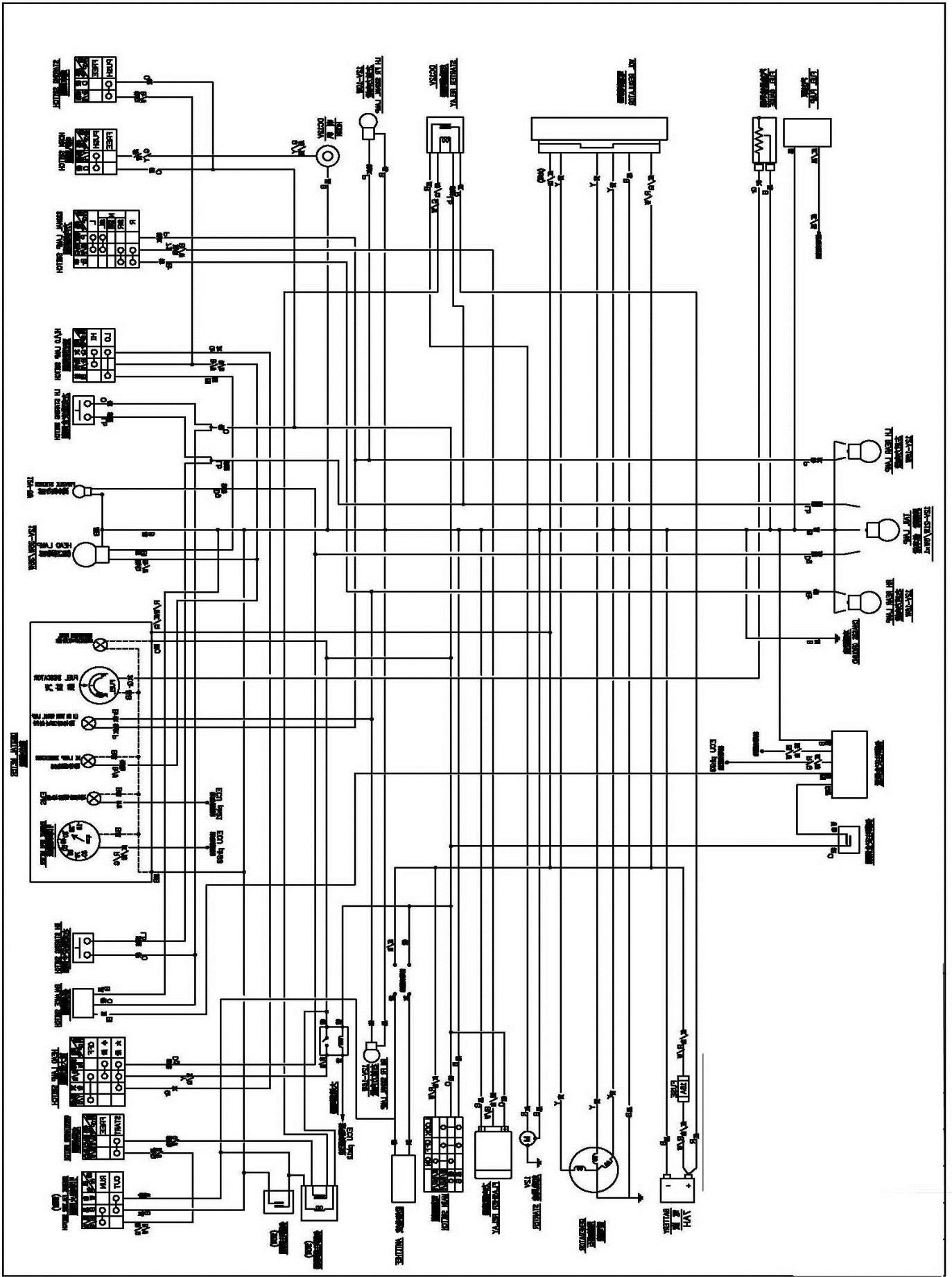
()内は 1 2 5 cc モデルの数値です。

全長	1900mm	ギヤオイル	
全幅	730mm	推奨規格	SAE140
全高	1095mm	交換容量	90cc
ホイールベース	1285mm	全容量	110cc
乾燥重量	124kg (118kg)	エアクリーナー	乾式濾紙フィルター
エンジン		燃料	無鉛ガソリン
原動機種類	4ストローク	タンク容量	5.8L
型式	F3E (C1E5)	タイヤ フロント	120/70-12 (110/70-12)
冷却方法	強制空冷	リヤ	130/70/12 (120/70-12)
気筒数	単気筒	点火方式	T.C.I
排気量	149.5cc (124.9cc)	バッテリー	YTX9-BS
始動方式	セルフ式	ライト	
潤滑方式	圧送飛沫式	ヘッドライト(HI)	12v-55W
推奨潤滑油	SAE15W40	ヘッドライト(LO)	12v-35W
全容量	1.0L	テール/ストップ	13.5v-0.034W
交換時	0.8L	ランプ	/0.66W
スパークプラグ	CR7E (CR6HSA) [NGK]	ナンバー灯	12v-5W
クラッチ	乾式	ウinkerフロント	13.5v-1.58W
変速機	V ベルト自動変速機	リヤ	13.5v-1.45W

定期点検記録簿

計画 Km	実行 Km	日付	販売店サイン
3 0 0			
1, 0 0 0			
2, 0 0 0			
3, 0 0 0			
4, 0 0 0			
5, 0 0 0			
6, 0 0 0			
7, 0 0 0			
8, 0 0 0			
9, 0 0 0			
1 0, 0 0 0			
1 1, 0 0 0			
1 2, 0 0 0			
1 3, 0 0 0			
1 4, 0 0 0			
1 5, 0 0 0			
1 6, 0 0 0			
1 7, 0 0 0			
1 8, 0 0 0			
1 9, 0 0 0			
2 0, 0 0 0			
2 1, 0 0 0			
2 2, 0 0 0			
2 3, 0 0 0			

配線図



MEMO

[illegible]

保 証 書

お買上げ頂いたお車を構成する各部品に材料または製造上の不具合がおきた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、下記の保証修理を致します。

一.保証範囲

- 1.保証内容：お車を取扱説明書に従った整備をおこない正常に使われている上で万一、部品に材料または製造上の不具合がおきた場合、無料修理いたします。（保証修理は部品の交換もあります。以下この無料修理を保証修理といいます。）尚、取外した部品は弊社の所有となります。
- 2.保証期間 新車を登録または届出した日から 1 年間もしくは走行距離 1 5,0 0 0 k m までのいずれか早い方までが保証期間となります。
- 3.保証対象 P G O 日本代理店：(有)ナーベルフォースが販売する P G O ブランドスクーター

二.保証修理の受け方：保証修理をお受けになる場合は、お車とこの保証書をお買上げの販売店へお持ち下さい。これにより保証修理を致します。※提示されない場合は、保証修理をいたしかねます。

三.保証できない事項：次に示す事項は保証修理いたしません。

- (1) 時の経過で発生する不具合（塗装面等の自然退色、メッキ面等のさび、消耗品の劣化等）
- (2) 機能上影響のない感覚的現象（音、振動、オイルのにじみなど）

1. 次に示す事項は保証修理いたしません。

- (1) 地震・台風・水害等の天災・事故・火災に起因する不具合
- (2) 純正部品及び指定する油脂類（オイル・ブレーキ液・冷却液等）以外の使用に起因する不具合。
- (3) 煤煙・薬品・鳥糞・塩害等に起因する不具合
- (4) レース・ラリーなどによる酷使或は一般に車輛が走行しない場所での走行に起因する不具合。
- (5) 法令に違反する改造及び弊社の認めていない改造に起因する不具合
- (6) 盗難にあったお車
- (7) 無免許運転に起因する不具合
- (8) 保管又は整備不良に起因する人為的な不具合

2.次に示す費用は負担いたしません

- (1) 消耗部品の費用（ライト類・ゴム類・ワイヤー類・ネジ類・ピストン・スパークプラグ・ワッシャー類・ブレーキパッド・ブレーキライニング・V型ベルト・ヒューズ・など）
- (2) 油脂類・燃料・バッテリー液などの交換補充の費用
- (3) お車を使用出来なかった事による不便さ及び損失など（電話代・レンタカー代・休業補償・営業損失等）
- (4) 車両修理に伴うレッカー代

四. 保証修理をお受けできない事項

1. 法令及び取扱説明書に示す取扱方法と異なる使用方法及び弊社が示す仕様の限度（最大積載量・乗車定員）をこえて使用した場合
2. 下記の点検整備を実施していなかった場合
 - (1) 乗車前の点検
 - (2) 弊社の指定する定期点検
3. 定期点検整備記録簿を保持していなかった場合
 - (1) 定期点検整備記録簿を大事に保管してください

五. 保証の発効

この保証書は、お買上げ頂いた正規販売店が保証登録書に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。

六. 保証の継承

保証期間が残っているお車をお買上げの際は、ご購入後、直ちに正規販売店へお車と保証書をお持ちになり、名義の書換え、必要な点検（有料）と必要事項の記入、捺印をお受け下さい。これにより残りの期間を保証いたします。

七. 保証の適用

この保証書は、日本国内で販売し使用されることを前提としております。従って海外へ持出す場合は、その時点で保証が打切りとなりますのでご注意ください。

＊ この保証書は、本書に明示された期間と条件をもとに無料保証をお約束するものです。この範疇を超えたものに関しては、原則として有償となります。

PGO SCOOTER 日本代理店
有限会社 ナーベルフォース
お問合せ：
埼玉県戸田市美女木7-15-6
TEL：048-449-0021
FAX：048-449-0022